



バスター・キートン
「セブンチャンス」
(別題: 柄纏棒)
1925年



天野天街
「トワイライト」
1994年

愛知芸術文化センター
オリジナル映像作品第3弾



ナム・ジュン・バイク
「ガダルカナル鎮魂歌
(レクイエム)」
(共作: シャーロット・モーマン)
1977-79年



大山度
「HAND SOAP」
2008年
愛知芸術文化センター
オリジナル映像作品第17弾

テーマ上映会

映像の学校

会期 2010.6/11(金)~13(日)/22(火)~24(木)

会場 愛知芸術文化センター12階アートスペースA
名古屋市中区東横1-13-2 (地下鉄「栄」駅下車・オアシス21連絡通路経由3分)

入場
無料

事前の申し込みは
不要です

[主催] 愛知芸術文化センター

[企画・お問い合わせ] 愛知県文化情報センター (TEL.052-971-5511 FAX.052-971-5644)

mail: bunjo@aac.pref.aichi.jp HP: http://www.aac.pref.aichi.jp

[協力・作品提供] イメージフォーラム/喜劇映画研究会/プラネット映画資料図書館

今日、劇映画、ドキュメンタリーと共に、映像表現の主要なジャンルを形成する実験映画は、その歴史的な源流を1910~20年代に興隆したアヴァンギャルド映画(前衛映画)に求められます。この時期の映画はまだ音声のないサイレント作品でしたが、既に表現として高度なレベルに達したものが数多く生まれています。いわば、映像メディアを用いて、いかに表現するか、ということ自体が実験であるという、映画芸術の揺籃期と呼べる時代ですが、この頃の実験映画の概念も形成されていったことは、重要な事実といえるでしょう。この上映会は、作品のタイトルや出演者、監督名などは知られていながら、今日、スクリーンで観る機会の少なくなったサイレント時代の名作と呼ばれる作品とともに、実験映画やビデオ・アートの傑作や重要作品を組み合わせた特集です。

サイレント映画の名作としては、今日の劇映画のフォーマットを作り上げ、「映画の父」とも称されるD・W・グリフィスと、スラップスティック・コメディ(ドタバタ喜劇)を極めたバスター・キートンの代表作が登場します。合わせて、「愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品」から、サイレント映画の方法論を用い新しい表現を志向した、天野天街『トワイライツ』(1994年)と寺嶋真里『アリスが落ちた穴の中 Dark Märchen Show!!』(2009年)を上映します。

タダの代表的な作家の一人、ハンス・リヒターが戦後に監督した『金で買える夢』(1946年)は、戦前と戦後の実験映画の結節点に位置する、重要作品です。実験映画の方法論を継承するビデオ・アートからは、ナム・ジュン・バイクとビル・ヴィオラという、このジャンルを代表する2人の作家の、代表作や重要作をセレクトします。

デジタルとアナログの融合を試みる最新の動向として、今年5月に「オーバーハウゼン国際短編映画祭賞」を受賞し話題になっている、「オリジナル映像作品」の大山慶『HAND SOAP』(2008年)もリクエストに応え登場します。また、この地域の有望な若手クリエイターの作品を集めた、愛知特別プログラム「愛知の新世代たち」も、明日の映像表現を探る上で見逃せません。

映像芸術の歴史的な流れと全体像を俯瞰的に捉えながら、実験映画の本質的な意味と、その精華に触れることのできる、入門者にも最適なプログラムといえるでしょう。

D・W・グリフィス
『散り行く花』
1919年



寺嶋真里
『アリスが落ちた穴の中
Dark Märchen
Show!!』 2009年
Photo by Kyo Nakamura



■上映スケジュール

- 6/11 (金)** 18:30 <サイレント映画再発見①>
バスター・キートン『文化生活一週間』
(別題:マイホーム、共同監督:エディ・クライン)1920年、20分、16mm版(サウンド版)
19:00 バスター・キートン『セブンチャンス』
(別題:板橋棒)1925年、57分、16mm版 **19:57 終了**
- 6/12 (土)** 14:00 <オリジナル映像作品アンコール①>
天野天街『トワイライツ』
1994年、33分、16mm
「第41回オーバーハウゼン国際短編映画祭」(1995年、ドイツ)グランプリ
「第44回メルボルン国際映画祭」(1995年、オーストラリア)短編部門グランプリ
*愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品第3弾 ★
14:45 <サイレント映画再発見②>
D・W・グリフィス『散り行く花』
1919年、90分、16mm版 **16:15 終了**
- 6/13 (日)** 14:00 <オリジナル映像作品アンコール②>
寺嶋真里『アリスが落ちた穴の中
Dark Märchen Show!!』
2009年、58分、ビデオ(主演:ロウス ドレフィカール エギルス、特別出演:マメ山田)
*愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品第18弾 ★
♪作品世界をイメージしてドレスアップでお越しの方には、ステキなプレゼントがございます(提供:ロウス ドレフィカール エギルス)。
15:10 <愛知特別プログラム「愛知の新世代たち」>
浜地雄喜『円』2009年、1分30秒、ビデオ
幸洋子『バリカン』2009年、2分47秒、ビデオ
江口詩帆『ガラス男の恋』2010年、17分、ビデオ
平川祐樹『pulse』2009年、5分40秒、ビデオ
川出新『ARATA』2009年、18分、ビデオ
林一嘉『ローン・モンスター』2009年、53分、ビデオ (計約98分)

■「イメージフォーラム・フェスティバル2010」一般公募部門「ジャパン・トゥモロウ」応募作品より、惜しくもノミネートにはならなかったものの、優秀な作品や独創性の高いものを選出したプログラムです。
※上映終了後、作家あいさつ、質疑応答などを予定しています。

17:30頃 終了予定

※6月16日(水)~20日(日)は、「イメージフォーラム・フェスティバル2010」を開催。

- 6/22 (火)** 18:30 <オリジナル映像作品アンコール③>
大山慶『HAND SOAP』
2008年、16分、35mm
「ヨコハマ国際映画祭2009」CREAMコンペティション優秀賞
「第56回オーバーハウゼン国際短編映画祭」(2010年、ドイツ)同映画祭賞
*愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品第17弾 ★
19:00 <実験映画&ビデオ・アート傑作選①>
ハンス・リヒター『金で買える夢』
1946年、70分、16mm
(出演:マックス・エルンスト、フェルナン・レジェ、マン・レイ) **20:10 終了**
- 6/23 (水)** 18:30 <実験映画&ビデオ・アート傑作選②>
ナム・ジュン・バイク『グローバル・グループ』
(共作:ジョン・J・ゴットフリー)1973年、28分30秒、ビデオ ★
19:10 ビル・ヴィオラ『プールの反映-1977-1980年の作品集』
1977-80年、62分、ビデオ
(「プールの反映」1977-79年、7分/「ムーンブラッド」1977-79年、12分48秒
「静かな生命」1979年、13分14秒/「上帝(絶対者)」1979-81年、12分21秒
「ヴェジタブル・メモリー」1978-80年、15分13秒) ★ **20:12 終了**
- 6/24 (木)** 18:30 <実験映画&ビデオ・アート傑作選③>
ナム・ジュン・バイク『ガダルカナル鎮魂歌(レクイエム)』
(共作:シャーロット・モマン)1977-79年、28分33秒、ビデオ ★
19:40 ビル・ヴィオラ『砂漠』
1994年、26分、ビデオ ★ **20:06 終了**

★印は、愛知県文化情報センター所蔵作品。アート・ライブラリー内ビデオ・ブースで、リクエストにより鑑賞できます。
※上映に先立ち、担当学芸員による約5分程度の簡単な作品解説を行います。

実験映画って、何?

実験映画は、1910、20年代のダダやシュルレアリスム、構成主義など、前衛芸術運動の一つであるアヴァンギャルド(前衛)映画を源流とする、映像表現ジャンルです。劇映画など既存の映画とは異なる、新しく先鋭的な表現の可能性を常に追求しています。